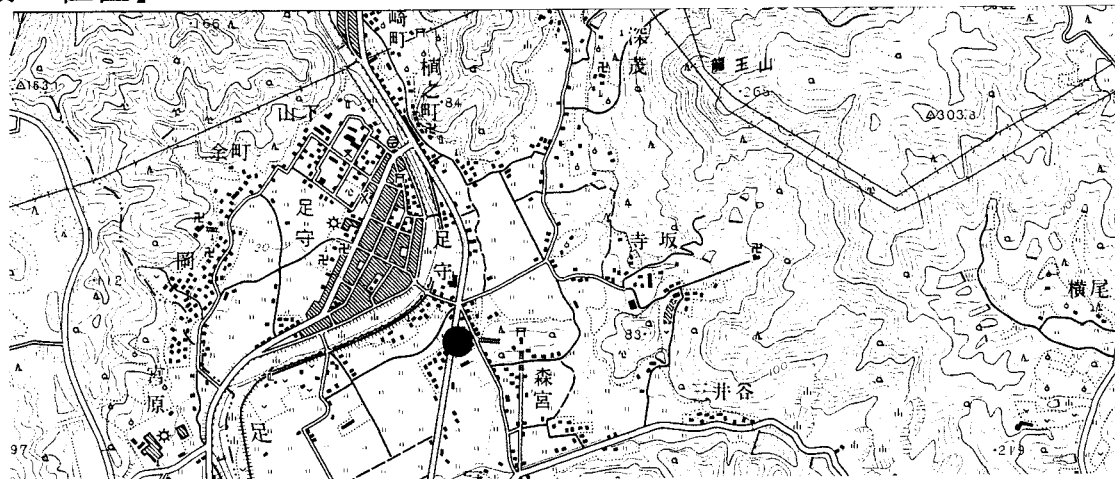


遺跡紹介

足守庄莊園関連遺跡

草原 孝典

【遺跡の位置】



S=1/25,000

【遺跡の概要】

足守庄莊園関連遺跡は、岡山市北区足守に位置します。この一帯は、嘉応元年（1169）に絵図を作成して立庄された足守庄の庄域に含まれます。絵図は、庄域を南側から鳥瞰して描いており、現在の地形ともよく符合しています。また、描かれている道や寺、ため池、条里水田なども現地で照合することが可能であり、足守全体が極めて良好に保存されている莊園遺跡といえます。とくに、庄域の東端を南北に通る道は、国道 429 号線が開通するまでは、当地の幹線道路であり、実に 800 年以上も使用されていたといえます。

発掘調査の成果をみると、庄域の大半を占める条里水田は、9～10 世紀に開発されたもので、その際に足守川から取水する水路が開発されたようです。その後、この水路の再開発が莊園の成立に大きく関係したものと考えられます。莊園の成立と考古学的な成果が見事に重なった莊園遺跡でもあります。

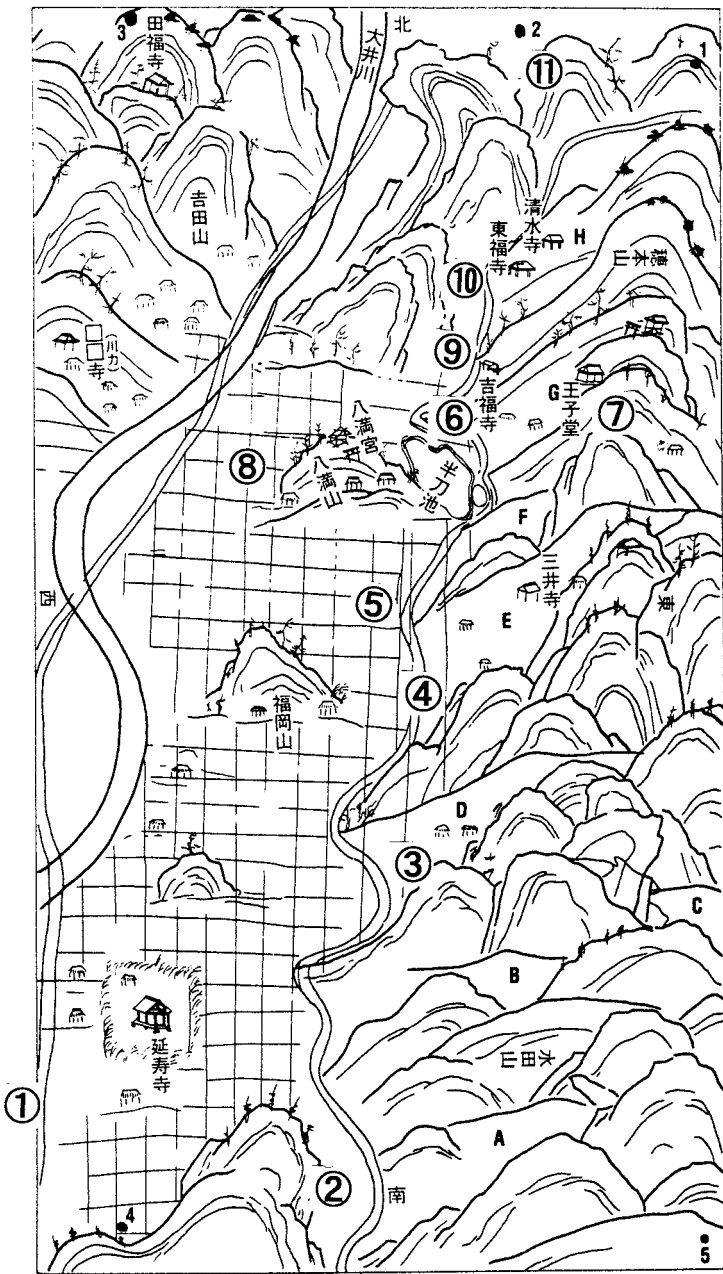
【文献】

久野修義 1990 年「治承・寿永の内乱と重源の活動」『図説岡山県の歴史』河出書房

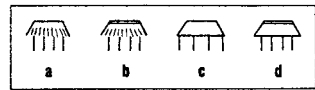
岡山市教育委員会 1994『足守庄（足守幼稚園）関連遺跡発掘調査報告』

【交通】

JR 吉備線「足守駅下車」足守川を東に渡ると生石神社があり、その東の国道 429 号線を横切りまっすぐすすむと絵図に描かれた道に合流できます。そのまま北へ歩いていくと莊園を南北に貫いていくコースを体験することができます。



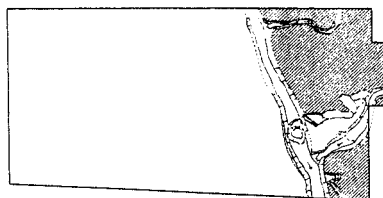
- 1 大井御庄界藤木山 「脇」(榜)
 - 2 大井御庄界畏坂山 「貼」(示)
 - 3 阿宗郷界大横山 「戌亥榜」(示)
 - 4 生石御庄界堤田一条六丁作人永宗坪 「未申榜示」
 - 5 備前国堺石畳山 「辰巳榜示」
- ※字の方向、字配りなどは写真図版を参照



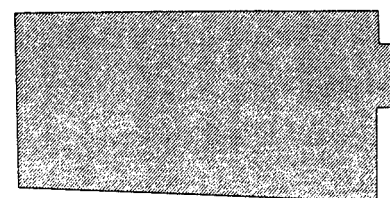
家屋の分類

足守荘絵図トレース図

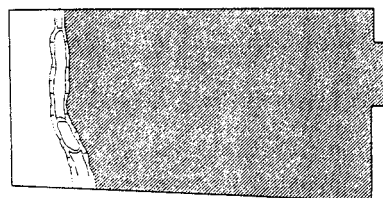
古墳時代中後期(5~6世紀)



平安時代中期(10~11世紀)

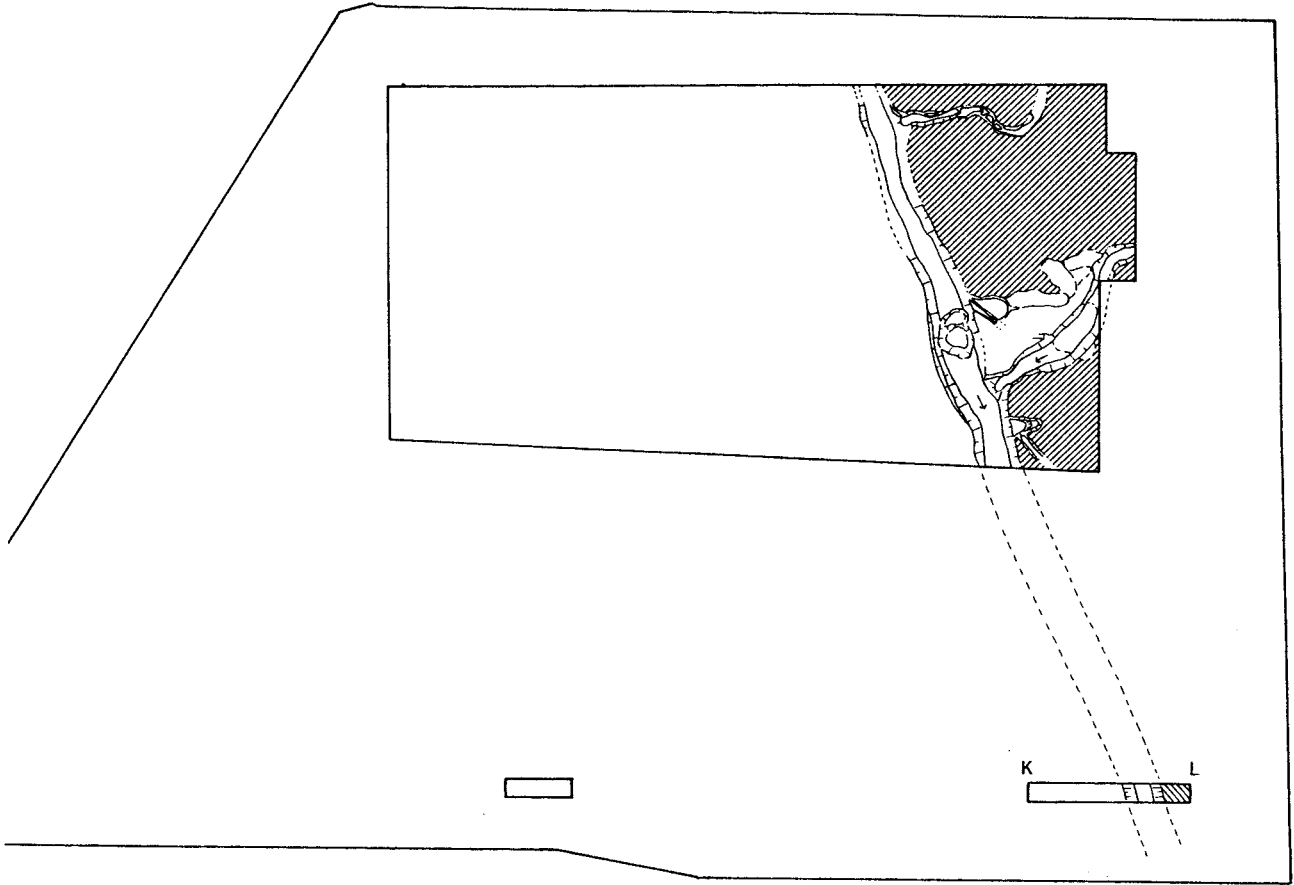


平安時代前期(9~10世紀)

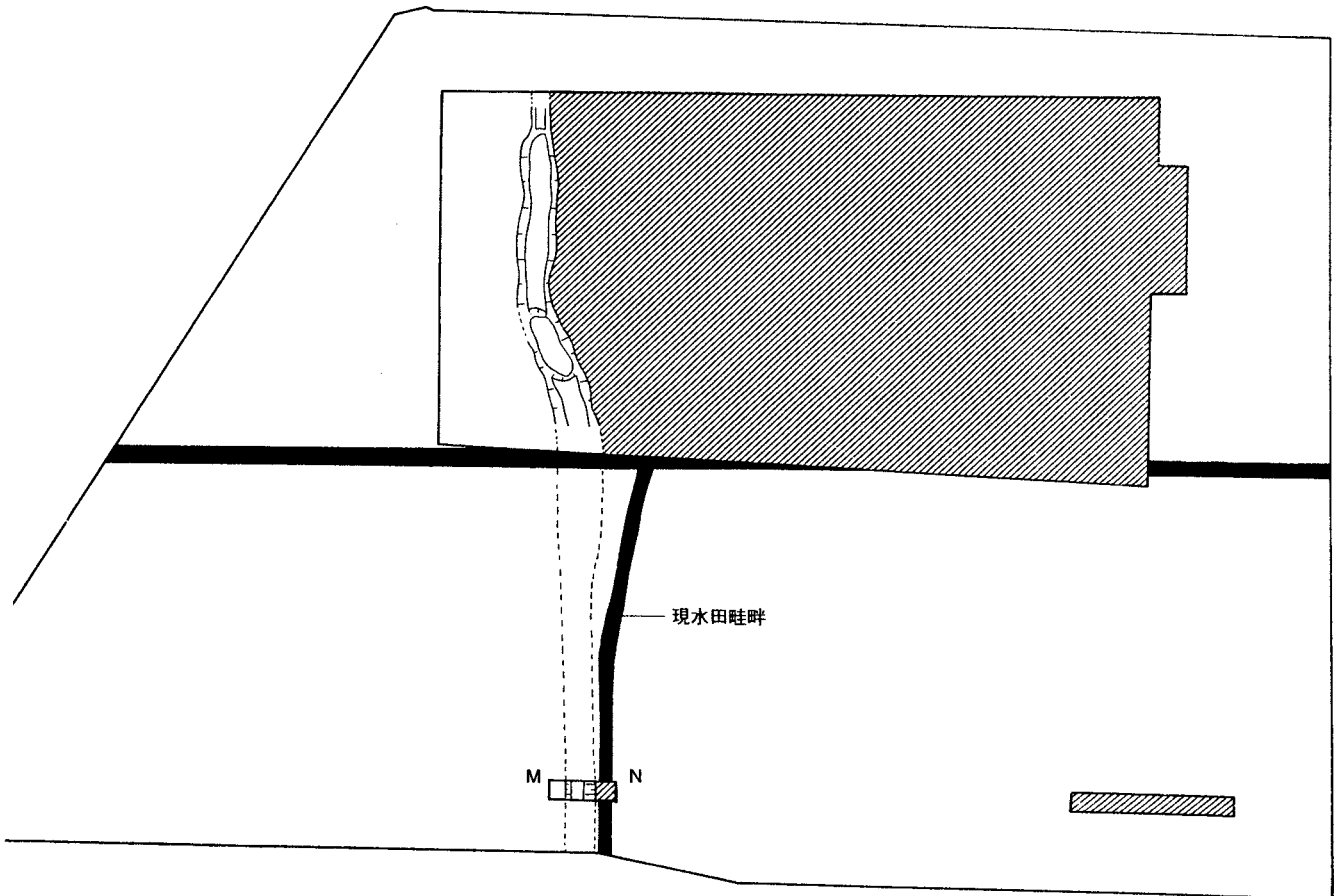


水田 0 10m

調査区内水田変遷図



古墳時代後期遺構配置図



現水田畦畔

M N

平安時代前期遺構配置図

0 10m